

[課程－ 2]

審査の結果の要旨

氏名 坂元 晴香

本研究は、グローバルヘルス領域には様々な課題が存在する中で、ある議題は高い政治的注目を浴びる一方で、疾病負荷が高いにもかかわらず政治的注目を集めない議題があることについて、政治的注目を浴びるまでのプロセスを明らかにすることを目的とした研究である。具体的には、2016年G7伊勢志摩サミットで日本が取り上げた3つの国際保健課題（Global Health Architecture (GHA), Universal Health Coverage (UHC), Antimicrobial Resistance (AMR)、及び同時期に高い政治的注目を集めた結核をケースとして取り上げ、分析には国際保健領域における政治・政策分析に広く用いられている Shiffman 及び Kingdon のフレームワークを用い、下記の結果を得ている。

- ・ある国際保健課題が高い政治的課題を集めるためには、Shiffman が提示するフレームワークに含まれるカテゴリーを満たすことが必要である（Actor, Idea, Political context, Issue characteristics, Policy environment）
- ・Actor Power については GHA, UHC 共に総理・元厚生労働大臣などの強いリーダーシップが存在した。また結核については市民社会の巻き込みが大きく貢献していた。
- ・Idea については、GHA は単に健康問題のみならず、社会・経済・安全保障の問題など様々な側面を有することが貢献した一方で、AMR や結核に関してはシンプルな問題の提示がより多くの関係者の巻き込みに成功した。
- ・Policy environment については、特に日本は2016年G7議長国の年にG7や関連会合、その他様々な国際会議での議論をリードすることで、関係者間の調整役をになった。また、これらのいずれの議題も国連総会で取り上げられたがそのようなハイレベルの会合で取り上げられたことでより一層の政治的注目を集めることになった。

以上、本研究は Shiffman や Kingdon のフレームワークを用い、また GHA, UHC, AMR, 結核の4つの議題について分析を行うことで、国際保健課題の中でどのような議題がより高い政治的関心を集めるかについて明らかにした。近年、ドナーからの援助資金が減少する中で、それぞれの課題にとってはいかに高い政治的関心を引きつけるかは、十分な援助資金を得るために必要不可欠である。本研究の結果は今後、グローバルヘルス関係者がどのように戦略的に高い政治的注目を集め援助資金を獲得するか、その過程に寄与するものである

よって本論文は博士（保健学）の学位請求論文として合格と認められる。